

事業所における自己評価結果(公表)

【児童発達支援】

公表:令和6年2月28日

事業所名:プロッサムジュニア玉里教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			
	2	職員の配置数は適切であるか	○			
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○			生活空間は児童がわかりやすい環境(視覚的支援)になっている。安全面及び衛生面に配慮した構造化を図っている。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○			活動毎に清掃、消毒を徹底している。生活空間は児童がわかりやすい環境になっている。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○			業務改善(PDCAサイクル)は職員で話し合いながら進めている。朝礼及び終礼で活動の打合せを行い、児童の様子や活動に対する反省を共有している。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			評価の結果を真摯に受け止め、改善に向けて努力していく。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○		今後は第三者(外部の有識者)に評価を依頼し改善を行っていききたい。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			今後、専門的な研修を実施し療育活動に繋げていきたい。職員が学べる環境を構築していく。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○			定期的に保護者と面談を行い、保護者のニーズを理解、把握に努め支援計画を作成している。
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			遠城寺式乳幼児分析的発達検査表を活用している。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○			発達支援は具体的な支援内容(発達の5領域)を設定している。今まで以上に保護者様、関係機関との連絡を頻繁に取り、「家族支援」「地域支援」を行う。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○			
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			支援会議で意見交換をしながら立案を行っている。より良い活動になるように取り組んでいる。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			子ども達の特性や成長、興味に考慮しながら工夫している。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		児童の状況に応じて個別療育の内容を立案し活動を行っている。	個別活動で取り組む課題を一人一人の成長に合わせて計画している。また、集団活動の中での目標も一人一人に合わせて設定している。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			毎朝、ミーティングを行い、支援内容、役割分担を確認している。
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○			毎日、反省会(情報の共有)を活動終了後に行っている。問題点については意見を出し合い、解決に向けてどうすれば良いか話し合っている。
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		専門システムを使用して社員間の情報共有を行っている。	ケア記録を取り、支援の検証、改善に繋げている。
20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○			定期的に支援会議を行っている。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
関係機関や保護者との連携関係	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○			関係機関と連携している。電話、訪問を行っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	/		
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	/		
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			担当者会議の中で児童の実態を伝え合い情報共有を行っている。定期的に連絡をとり、今後も相互理解に努めていきたい。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○			担任の先生と事前に情報を共有している。連携会議で情報を共有している。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			療育センター等に相談及び助言を受けている。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○		今後、検討していきたい。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○			地域で行われる会議等に参加し、連携していく。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			日々の状況について保護者様との連絡を頻繁に行い、共通理解を持つようになっている。
保護者への説明責任等	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○		面談の中で保護者の悩みに寄り添い、一緒に考えたり、解決法を提案したりしている。今後はペアレント・トレーニングに力を入れて取り組んでいく。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約時に説明、変更があればその都度、説明を行っている。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○			保護者様に児童発達支援計画を示し、支援内容の説明を行い同意を得ている。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			定期的に保護者様との面談実施、保護者様と関係機関の連携を強化していく。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○		親子で参加できるイベントを企画し、保護者同士の交流の場を提供できるようにする。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			児童及び保護者からの相談や意見は真摯に受け止め迅速に対応していく。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			毎月、教室だよりを発行している。活動概要や行事予定が分かるように工夫している。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○			個人情報の取り扱いには十分に注意している。職員間でチェックしている。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		児童への情報伝達は白板、イラスト等でわかりやすく表示しています。	
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか		○		中学生の職場体験の受入れを行っている。地域住民と交流や活動が出来るように、地域の行事に参加したり、地域の方を招いて行う活動を計画していく。

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
非常時等の対応	41 緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○			職員全員で対応できるように話し合いや訓練を行います。
	42 非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			毎月1回、様々な場面を想定して避難訓練を行っている。
	43 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○			保護者からアセスメント時に状況を確認している。
	44 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○			現在、アレルギーのある児童はいないが、アセスメント時に保護者へ確認を行って対応している。
	45 ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハットを作成し、改善点を話し合い実行している。
	46 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			職員会議で虐待防止の確認(チェックリスト)を行っている。定期的に研修及び委員会を開催していく。
	47 どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○			職員会議で身体拘束の確認を行う。定期的に研修及び委員会を開催していく。

○ この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。

○ 「はい」、「いいえ」の欄は、数を記入するのではなく、職員による自己評価結果を踏まえ、職員全員で討議した結果について回答すること。(該当する方に○を記入)